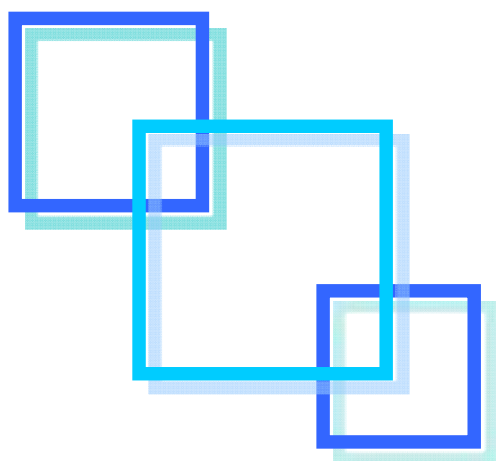


# 飯能市 地区別まちづくり計画

つながりづくり  
～持続可能な仕組みをつくる～



令和8～12年度



## ごあいさつ

飯能市は都心からほど近く、交通アクセスが良好な位置にありながら、緑と清流という自然環境に恵まれ、古くから豊かな森林と人との共生によって、人々の暮らしや文化・歴史、産業が育まれてきました。飯能市に関わるたくさんの人々がつながることによって、賑わいや支え合う地域社会が創出され、暮らしの豊かさの実感につながり、更に飯能市の魅力が高まっていく、そのような飯能市を目指し、第6次飯能市総合振興計画では「人・自然・未来つながる 森林文化都市 はんのう ～好循環を育むずっと暮らしたいまち～」を将来都市像として掲げ、まちづくりに取り組んでいるところです。

そのまちづくりの鍵となるのは、人、自然、地域社会が互いに支え合い、持続していく「好循環」です。飯能市には歴史情緒あふれる市街地、森林文化が息づく山間地域、そして新たな活力が生まれる住宅地と多様な個性が共存しています。地区別まちづくり計画は、それぞれの地区が持つ、かけがえのない資源を「人」がつなぎ、「自然」を守り育み、「未来」へと引き継いでいくための確かな設計図となるものです。

各地区まちづくり推進委員会の皆様には、それぞれの地域の特色を生かして魅力ある地域づくりに長年にわたり取り組んでいただいております。

このたび、各地区の行動指針である「飯能市地区別まちづくり計画」について見直しを行っていただき、令和8年度から令和12年度までの5年間の計画を新たに策定いたしました。

今後は、この計画に基づき、市民がまちづくりに自主的に取り組み、郷土への愛着と誇りが育まれ、更に飯能市の魅力が高まるという好循環を創出するため、皆様と手を携えながら、取組を進めてまいりたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたり、地域への深い愛情を持ってご尽力いただきました各地区のまちづくり推進委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

令和8年4月

飯能市長 新井重治

## 目 次

飯能地区まちづくり計画	1
精明地区まちづくり計画	9
加治・美杉台地区まちづくり計画	15
南高麗地区まちづくり計画	23
吾野地区まちづくり計画	31
東吾野地区まちづくり計画	39
原市場地区まちづくり計画	47
名栗地区まちづくり計画	55

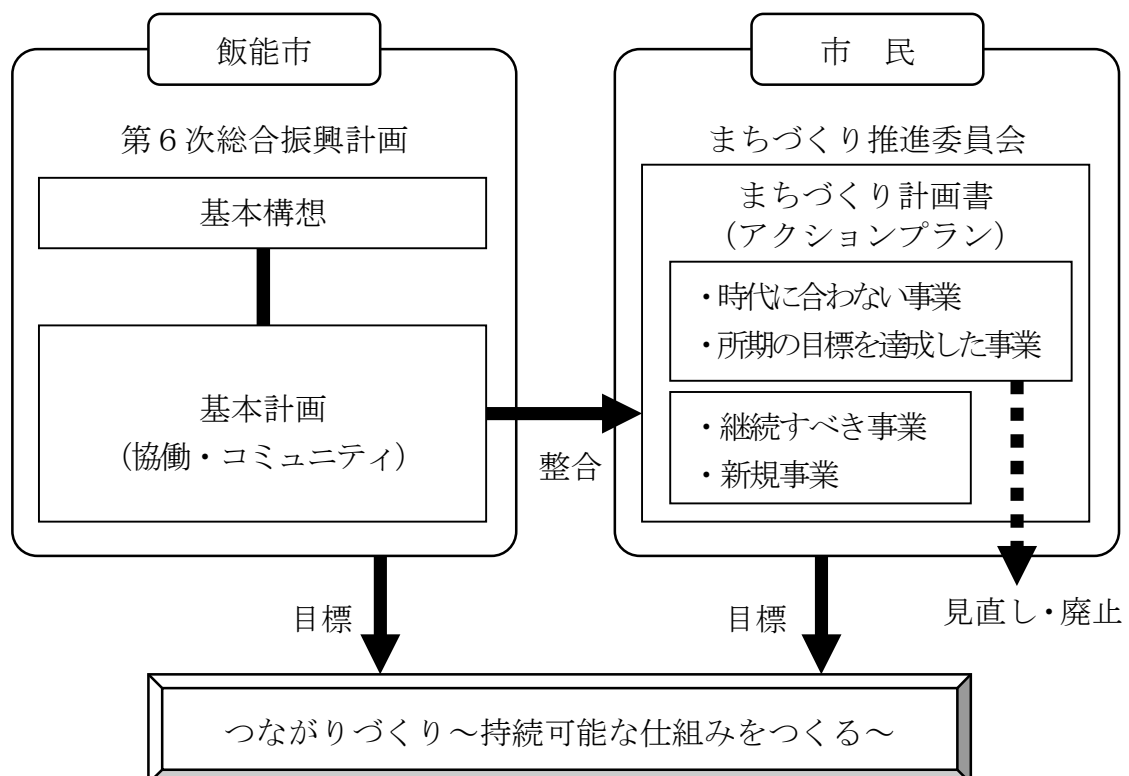
## 地区別まちづくり推進委員会

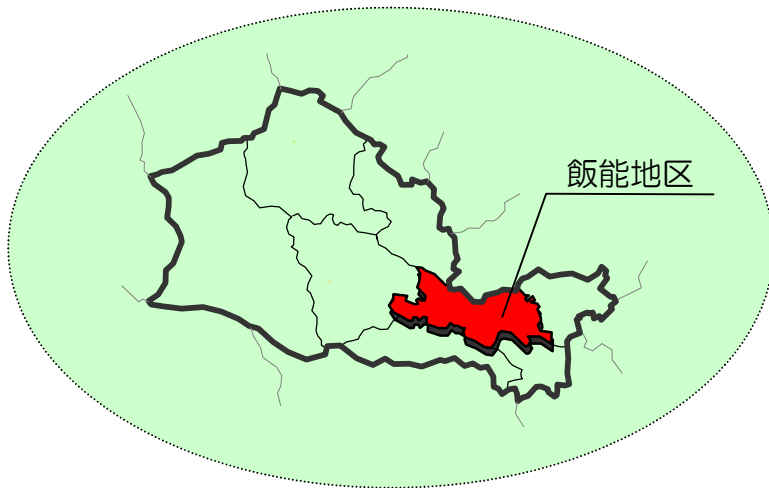
各地区まちづくり推進委員会は、第3次飯能市総合振興計画で地域コミュニティの形成を目指して平成9年度から発足し、現在では飯能、精明、加治・美杉台、南高麗、吾野、東吾野、原市場、名栗の市内8地区で、委員会が組織されています。

今回、令和8年度を初年度とする第6次飯能市総合振興計画の前期基本計画策定に合わせ、各地区まちづくり推進委員会においても、従来からの活動実績を踏まえ、時代や周辺環境の変化に対応した事業活動を展開するため、これまでの計画の見直しを行いました。新たな地区別まちづくり計画書を策定することで、より一層充実した地域コミュニティづくりを推進していきます。

### ●計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。





# 飯能地区



毎年恒例の「飯能河原 秋の水仙植樹会」の集合写真

飯能地区は、飯能市の玄関口である飯能駅と東飯能駅を起点とし、四季を通じ行楽やハイキングに人気の「天覧山・多峯主山・宮沢湖」や「清流の飯能河原・吾妻峡」など都心から1時間で訪れる事が出来る行楽のスポットを有し、市民も日々の散策で自然あふれる景観を楽しめる地域である。一方、歴史のある建物や蔵造り、また、古くから営みを続ける様々な商店、数多くの路地・神社・仏閣が共存している市街地と西川材の山林を抱える山村風景もあり、豊かな自然と人々の生活が調和した魅力的な地区である。

## 活動実績

飯能地区まちづくり推進委員会は平成 12 年 10 月に発足し、令和 7 年度はコミュニティ団体の代表及び公募の会員 50 名で構成。当会の活動は、「市民及び来街者に飯能の魅力を伝える事により、より深く飯能に愛着を持ってもらえる活動」、並びに「飯能河原、天覧山等自然あふれる地域の環境整備活動」を軸に展開してきた。「市民及び来街者に飯能の魅力を伝える事により、より深く飯能に愛着を持ってもらえる活動」では、平成 22 年度から 3 年半にわたり飯能駅改札前で市民並びに来街者を対象に「なんでも案内所」を開設運営してきた。案内にMAP等の情報ツールが必要となり「駅からMAPシリーズ」と称したイラストMAP5種類を作成・活用し、市民・来街者から好評を得てきた。平成 26 年 4 月に念願かなって駅前観光案内所「ぷらっと飯能」が開設され、当会作成の「駅からMAP」も観光案内所に常備している。「飯能河原、天覧山等自然あふれる地域の環境整備活動」では、平成 28 年度から継続して飯能河原で水仙を中心とした花木の植樹による環境整備活動に取り組んできた。9 年間で水仙 12,700 株、桜 12 本、山茶花 4 本、スズランの木 3 本を植樹し、冬の飯能の風物詩となる風景づくりに取り組んできた。また、ハイキング道整備では第二区地区に当会制作の「駅からMAP」に連動して 18 箇所に道標を設置した。また、愛好者の中で飯能三山と呼ばれている「柏木山」の道標・看板、ベンチ等を設置した。そのほか、地域コミュニティの活性化促進に向けては、毎年恒例となった地域の子もたちが参加する秋の水仙植樹会&食事会、まちなか散策、陽だまりウォーキング、飯能河原BBQ、飯能河原水仙まつり、親子で楽しむ柏木山エンジョイハイキング等を開催してきた。

## 現状と課題

組織の強化・活性化を図るべく、当会発行の「まちづくり通信」や市の「広報はんのう」、「地区行政センターだより」等を通じて会員の募集を行うも、活動に参加できる市民ボランティアの応募は限られており、特に女性及び若い人のボランティアの参加を促進するための働きかけが課題である。そのためには、地域住民の参加をより広く得られるような地域ぐるみの活動に取り組む必要がある。地域住民が触れ合える活動に軸を置き、魅力ある具体的企画を展開し、地域コミュニティの形成と発展に寄与することが求められる。

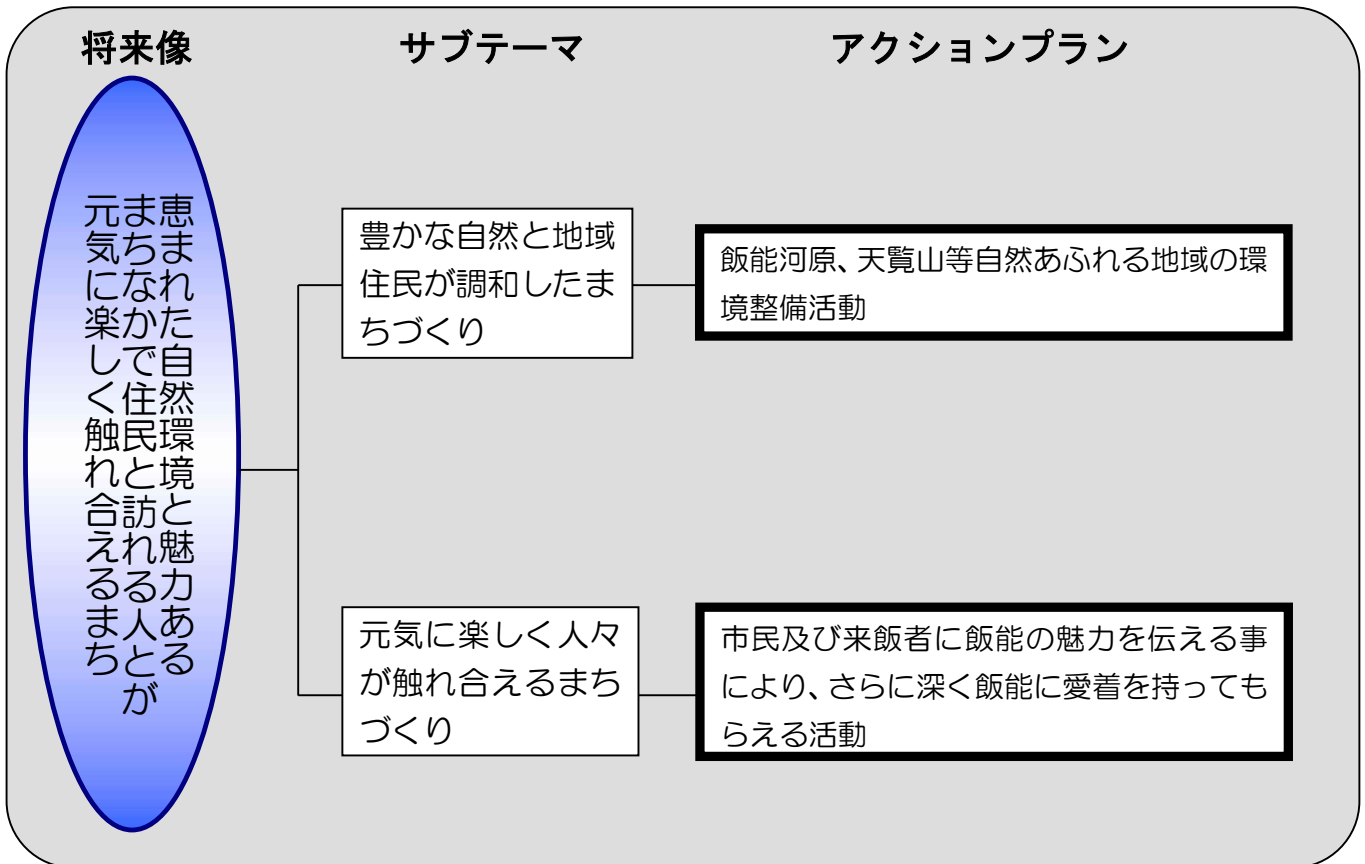
## 将来像

恵まれた自然環境と魅力あるまちなかで  
住民と訪れる人々が元気に楽しく触れ合えるまち

## サブテーマ

- 豊かな自然と地域住民が調和したまちづくり
- 元気に楽しく人々が触れ合えるまちづくり

# 飯能地区協働計画「アクションプラン」



飯能河原水仙花公園づくりに続く第二弾として、市民も知らない中央公園駐車場下の公園を市の花「つつじ」で埋め尽くし、桜の終わった後の季節に市民がそれを楽しみにして訪れ、飯能の初夏の風物詩となる公園に変える。※写真はイメージです。

## ★アクションプラン①

### 「飯能河原、天覧山等自然あふれる地域の環境整備活動」

#### 〔目的〕

・天覧山及び飯能河原周辺の環境整備を進め、魅力をさらに向上させ、市民及び来街者に提供する

#### 〔取り組み方〕

- ・すでに10年にわたり、水仙を中心とした花木植樹に取り組んできた飯能河原環境整備事業の継続
- ・市民でさえ知らない未活性の中央公園に、市の花＝つつじを植樹することにより「天覧山つつじ花公園」を創出し飯能市の名所＝メッカづくりを行う



毎秋、地域の子供たちと水仙の植樹会&食事会を開催。飯能河原に咲いた水仙を見て「自分が植えたんだよ～」と言う子供たちの明るい声が飯能河原に響き渡る日を期待して！

## ★アクションプラン②

「市民及び来飯者に飯能の魅力を伝える事により、さらに深く飯能に愛着を持ってもらえる活動」

### 〔目的〕

- ・市民及び来飯者に飯能の魅力を伝える事により、さらに深く飯能に愛着を持ってもらう

### 〔取り組み方〕

- ・飯能の魅力を伝える案内のマップ作成と既存マップの更新
- ・地域コミュニティ形成及び地域の魅力再発見に向けた各種イベント開催と支援
- ・ハイキング&散策道の環境整備推進（道標、看板、道路ほか）



第二区地区の魅力再発見を目的に作られた駅から MAP 第5弾「清流と里山の歴史を訪ねて」に即してより楽しく快適に散策できるよう道標を設置（弁天橋等計 8 カ所に設置）



子安浅間神社  
例大祭 獅子舞



多峯主山



アクションプラン②  
市民及び来飯者に飯能の魅力を伝える事により、さらに深く飯能に愛着を持ってもらえる活動



吾妻峡



龍崖山



飯能河原

# 飯能地区アクションプランマップ



天覧山



中央公園（アトム像）



宮沢湖

飯能日高消防署

智観寺 祀

中央公園

文 市民会館  
博物館

文 図書館

文 文  
● 富士見地区行政センター  
● 飯能市役所

飯能河原

飯能中央地区行政センター

東飯能

飯能

299

アクションプラン①  
飯能河原、天覧山等自然あふれる  
地域の環境整備活動





# 精明地区



地産地消餅つき大会

精明地区は、国道 299 号バイパスを挟んで南と北に位置し、それぞれ異なった環境にあるのでその特色を活かしたまちづくりができる。

当該地区で新たな交通手段「おでかけむーま号」の運行が開始し、高齢者等の方々の買い物や通院などの移動手段が改善される。

また、土地区画整理事業による道路整備で拡張された歩道に、地域のボランティア団体による四季を通じた花の植栽が人々の目を楽しませている。

## 活動実績

精明地区まちづくり推進委員会は、平成 12 年 12 月に発足した。精明地区は農作地と市街地を抱える環境でまちづくりを進める中、共に暮らす地域の人々が本会の餅つき大会事業で多世代に渡り交流が出来た事、また自治会や学校、各種ボランティア団体とも連携を深められ、若者も高齢者も生き生きと暮らせるまちづくりの一助になった。

もちつき大会で使用する食材においては、地域産品の積極的な活用に努めている。具体的には主要食材であるもち米は、精明地区の農家が生産したものを直接購入し、その他の食材についても地元の商店から購入している。これにより、地域間の交流を増やすことができたとともに地産地消を実現することができている。

## 現状と課題

これまで幾つかの事業を企画してきたが、コロナ禍で全ての事業が中止となった後、「地産地消」と「地域交流」を目的とした餅つき大会が、事業の主軸となっている。餅つき大会の事業は地域の関心を高く集めることができ、参加者、協賛者数を毎年増加させることができている。

課題として、今後事業費が増加傾向になると、新たな事業が企画できないことが挙げられる。

## 将来像

住んでいる人も訪れる人も、  
安心して心豊かに暮らせるまち

## サブテーマ

○多世代に渡りいきいきと暮らせるまち

# 精明地区協働計画「アクションプラン」



## 将来像

住んでいる人も  
訪れる人も、  
安心して心豊か  
に暮らせるまち

## サブテーマ

多世代に渡り  
生き生きと  
暮らせるまち

## アクションプラン

地産地消餅つき大会（わいわい祭り）



飯能おやじの会 豚汁大鍋

## ★アクションプラン①「地産地消餅つき大会（わいわい祭り）」

### 〔目的〕

日本古来より受け継がれて来た餅つきを介して、多世代の交流と当該地域生産者と消費者との交流

### 〔取り組み方〕

- ・ 飯能市立飯能第一中学校敷地内を会場借用し近隣住民の交通利便性に対応する。
- ・ 敷地内ではテントブースを幾つか設置し参画団体に対応する。
- ・ 学校敷地以外に体育館も借用しステージ上で飯能市内の演奏活動家のミニコンサート、一中吹奏楽部演奏、地域に根付く祭り囃子等のイベントも視野に入れる。
- ・ 近隣自治会のイベント協賛要望が有れば対応したい。



長福寺



宮沢湖・メツツア

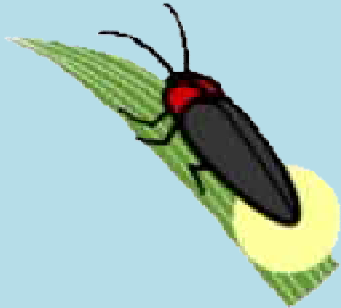
アクションプラン①  
地産地消餅つき大会



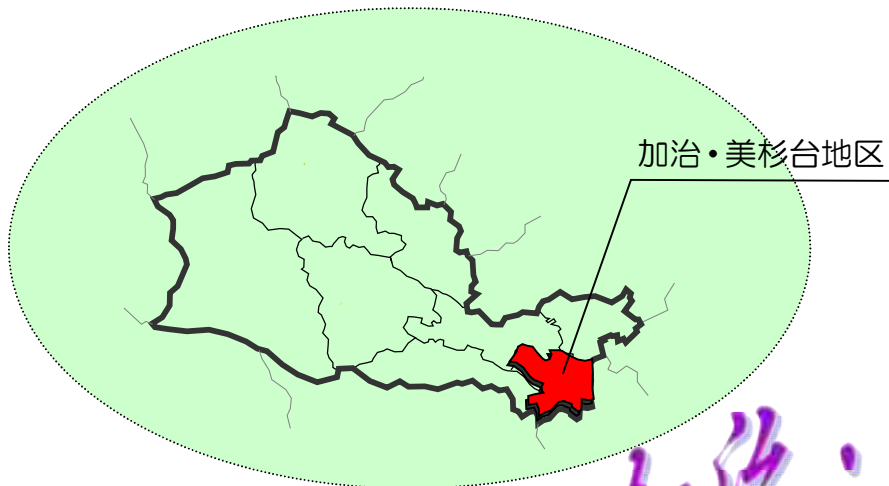
餅つき大会



# 精明地区アクションプランマップ







# 加治・美杉台地区



冬の入間川沿いに飛来する野鳥の観察会

加治・美杉台地区は、飯能市の南東部に位置し、自然の豊かな阿須丘陵と清らかな河川などに恵まれた素晴らしい自然環境を有している。

また、幼稚園をはじめ多くの教育施設が整い、阿須運動公園やトーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園、あさひ山展望公園などが所在し、豊かな自然と共生しながら創造性と市民文化を育てる条件が揃っており、次世代を担う子どもたちを健やかに育てるには、最適な地区である。

## 活動実績

加治・美杉台地区まちづくり推進委員会は、平成12年8月に発足し、これまでアクションプランに基づき、下記の事業を実施してきた。また、活動に関連のある別組織「あいわ広場会」が、あいわ広場の整備事業、加治中学校の生徒、保護者と協働で「真善美の小径」の整備事業を実施してきた。

- ・阿須丘陵の散策路づくり事業は、これまでに完成した「あけぼの・桜山・万葉コース」「七国コース」「美杉台・大河原コース」の3つのコースの整備・維持管理を奥武蔵マウンテンバイク友の会と協働で実施し、加治、加治東、美杉台の公民館とタイアップして「ふるさとハイキング」を企画実行し、地域住民の健康増進と地域のコミュニティづくりに寄与している。
- ・さくらの植樹事業は、これまでに植樹した261本のさくらの木の根元の除草をはじめ剪定、消毒等の維持管理に努めている。春になると満開のさくらが入間川沿いを歩く人たちに喜ばれている。
- ・水辺の楽校事業は、加治東公民館とタイアップして園児や小学校低学年を対象に水辺の水生昆虫の観察やピストン釣りをを行い、水に親しみながら河川をきれいにする啓蒙活動を行っている。また、加治中学校の中学生ボランティアは、受付を担当して参加した園児や小学生を班編成して引率、釣りの指導など運営全般の体験をしている。冬には、水辺に住む野鳥の観察会等も行い地域住民の交流の場をつくり親睦の和を広げている。
- ・真善美の小径事業は、彼岸花の群生地においては年7～8回の除草のほか、整備と時期には彼岸花の分球・移植を実施し、満開の彼岸花が人々の目を楽しませている。また、早春には小さいながらも可憐な花をつけるアマナ（甘菜：花期は3月から4月）が、彼岸花開花前にはキツネノカミソリ（花期は8月中旬）が群生し、小径を歩く人たちの楽しみが増えている。

## 現状と課題

ここ数年の異常気象による大雨・強風・台風などの自然災害で河川の増水、散策路の土砂崩れや倒木などで、予定外の活動が増加している。

課題は、恵まれた素晴らしい自然環境と教育、文化施設を多数有する本地区を、大いに生かした事業の展開を図り実行していきたいが、まちづくり活動に参加する委員の高齢化が進み、事業展開に必要な人的資源が減少し、活動実績にある事業を継続していくことが難しいと感じられる。

そうしたなかで、経験豊富で元気に活動できる高齢者や、将来を託せる若い担い手を確保するための働きかけを考えていく。

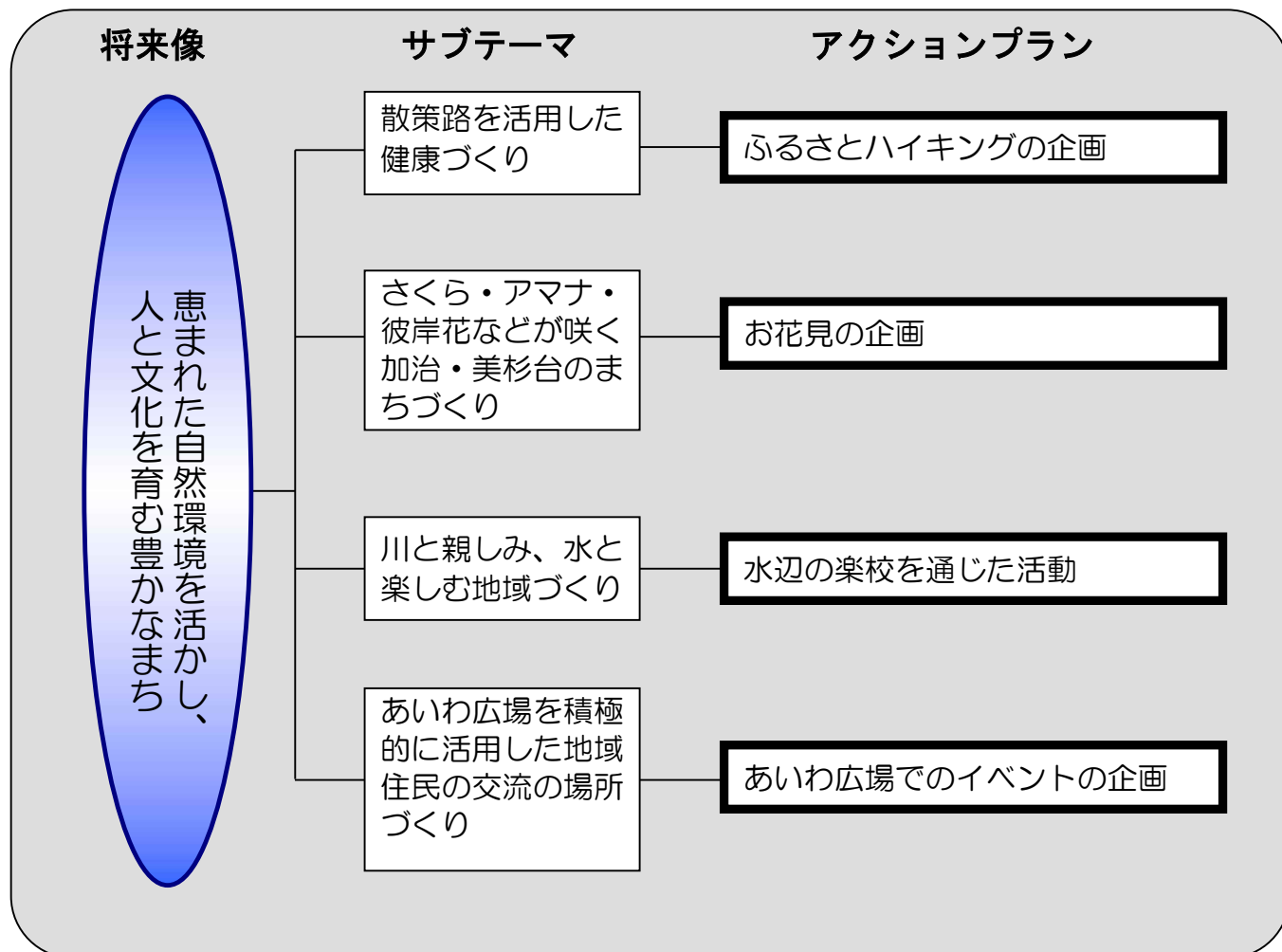
## 将来像

恵まれた自然環境を活かし、  
人と文化を育む豊かなまち

## サブテーマ

- 散策路を活用した健康づくり
- さくら・アマナ・彼岸花などが咲く加治・美杉台のまちづくり
- 川と親しみ、水と楽しむ地域づくり
- あいわ広場を積極的に活用した地域住民の交流の場所づくり

# 加治・美杉台地区協働計画「アクションプラン」



あいわ広場に集合し「奥武蔵マウンテンバイク友の会」の皆さんと協働で散策路の整備

## ★アクションプラン①「ふるさとハイキングの企画」

### 〔目的〕

「あけぼの・桜山・万葉コース」「七国コース」「美杉台・大河原コース」の各コースや市内の観光名所を巡る、「ふるさとハイキング」を企画して地域住民の健康増進を図る。

### 〔取り組み方〕

- ・加治、美杉台地区の各公民館及び関係団体と協働して企画運営する。
- ・各コースの道標や案内板の維持管理や整備等を、奥武蔵マウンテンバイク友の会と協働で行う。



散策路案内板の補修



「ふるさとハイキング」の様子

## ★アクションプラン②「お花見の企画」

### 〔目的〕

地域住民の交流を図り親睦を深める。

### 〔取り組み方〕

- ・関係団体と協働して春はアマナとさくら、夏から秋にかけてはキツネノカミソリと彼岸花の花見を企画運営する。
- ・さくらの木の周りの除草・消毒・剪定等を行う。
- ・真善美の小径沿いのアマナ、キツネノカミソリ、彼岸花の群生地の除草、整備等を行う。彼岸花は分球・移植をして、さらに群生地を広げていく。



征矢町のさくら並木



真善美の小径に群生するアマナ（甘菜）

### ★アクションプラン③「水辺の楽校を通じた活動」

#### 〔目的〕

入間川を中心に水生生物及び野鳥の観察を通して、きれいな水の大切さを認識してもらう。

#### 〔取り組み方〕

- ・園児や小学校低学年を対象として、川や川辺と親しみ楽しみながら水の大切さを学んでもらい、併せて同伴の保護者にも認識してもらえる機会とする。  
また、中学生ボランティアには園児や小学生との交流、釣り指導などの体験してもらう。
- ・水辺に住む野鳥の観察会では、自然環境の大切さと地域住民の交流親睦の場としていきたい。



「水辺の楽校」と「野鳥の観察会」の様子

### ★アクションプラン④「あいわ広場でのイベントの企画」

#### 〔目的〕

あいわ広場を積極的に活用する企画を行い、多くの人々が触れ合える「わくわくした地域づくり」を推進していく。

#### 〔取り組み方〕

- ・地域の賑やかな場所にするため、イベントを開催して元気で魅力的な活力溢れる「わくわくした地域づくり」に貢献していく。
- ・あいわ広場の除草と整備をし、併せて河原の除草やゴミ拾い等をする。



あいわ広場でのイベントの様子



あいわ広場で「真善美の小径」の彼岸花の案内

阿須丘陵ハイキングコース  
あけぼの・桜山・万葉コース  
全長4.5km 1時間30分

アクションプラン①  
ふるさとハイキングの企画

トーベ・ヤンソン  
あけぼの  
子どもの森公園

アクションプラン②  
お花見の企画

アクションプラン③  
水辺の楽校を通じた活動



# 加治・美杉台地区アクションプランマップ

**アクションプラン④**  
あいわ広場でのイベントの企画

**阿須丘陵ハイキングコース  
七国コース**  
全長10km 4 3時間



阿須丘陵七国コース



あさひ山展望公園の階段

◆あさひ山・ゆうひ山コース  
美杉台公園がスタート・ゴール  
全長 約 3.7 km

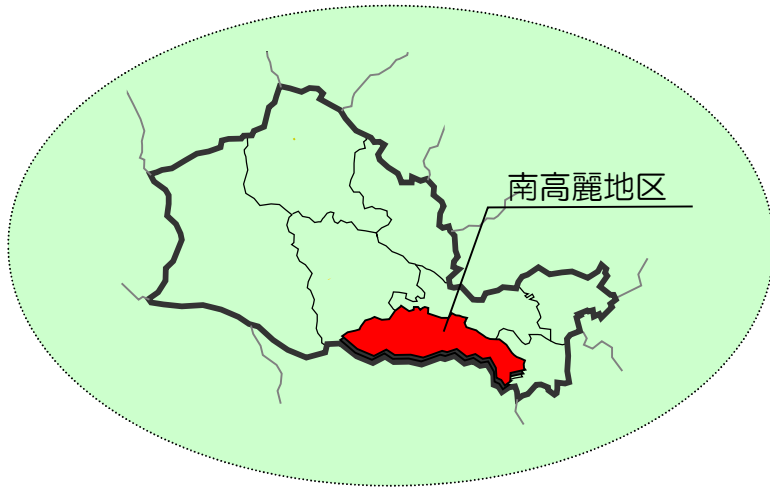
◆大河原・美杉台コース  
美杉台公園がスタート・ゴール  
全長 約 3.74 km



真善美の小径の彼岸花

**加治・美杉台地区まちづくり推進委員会**





# 南高麗地区



ジャガイモ収穫体験会 令和7年6月28日 下畑地内

南高麗地区は、飯能市街地の南西に位置し、東西約9km、南北約4kmの細長い形状をした、中山間地と呼ばれる地域である。西の山間部には市指定天然記念物のモリアオガエルが生息し、東部には同じく市指定天然記念物のカタクリやイカリソウが早春に花開くなど、豊かな自然を有している。

また、縄文時代の住居遺跡が点在し、江戸城天守閣造営の際に必要な消石灰の生産の場となった石灰焼場跡や、現存する曹洞宗の本堂としては最も古い長光寺の本堂があるなど、この地には長い歴史と、その歴史に醸し出された豊かな生活文化がある。

年に一度の大運動会や文化祭の時期になると、住民総出で盛り上がり、人々の心の中に郷土愛の溢れる地域でもある。

## 活動実績

南高麗地区まちづくり推進委員会は、平成 12 年 11 月に発足し、これまでアクションプランに基づき、IT、イベント、ふるさと、里山づくり、夢農場、子ども・学校応援の各実行委員会による様々な活動を展開してきた。令和 2 年 1 月から新型コロナウイルス感染症の関係で 3 年間活動が滞った。

- ・IT 実行委員会は、HP の更新をとおして南高麗地区の様子の情報発信をする活動を行ってきた。また、地区内で行われる行事を撮影し、写真記録に努める一方、昔の写真をデジタル記録する活動を行った。
- ・イベント実行委員会は、各種イベントを企画・実行し、地区住民の交流の場を作っている。ツーデーマーチと地区文化祭での売店運営、会員の親睦を図る暑気払い、研修旅行も実施してきた。
- ・ふるさと調査実行委員会は、南高麗地区内のハイキングコース設定と道標の設置、主だった山頂に石の標識を建てる活動を行い、12 基設置済みとなっている。
- ・里山づくり実行委員会は、下畑の穴郷（あなご）地区の整備に努め、ホタル観賞会を実施してきた。
- ・夢農場実行委員会は、会員自らが農作物を作ることにより、衰退するおそれのある農業に対する理解を深め、作業を通じて会員相互の協力体制の強化に役立っている。具体的には、南高麗小中学校の児童・生徒と農業体験実習を実施し、作付けと収穫の喜びを共有している。
- ・子ども・学校応援実行委員会を平成 22 年度に立ち上げ、継続して活動してきたが、まちづくりの組織的活動というより、会員個人のボランティアとしての活動になっているように思う。「子どもは地域の宝」という観念は持ち続けつつ、学校応援の活動を進めている。

## 現状と課題

恵まれた自然を維持するために必要な人的資源の減少により、今後、地域の環境保全は難しいと感じている。

この現状を打破するためには、元気で経験豊かな高齢者が地域活動に主体的かつ積極的に取り組むことが必要である。したがって、高齢者が意欲的に取り組める魅力的な活動を創り出すことが課題といえる。また、どうすれば若い世代が南高麗地区に留まるか、その方法を地区全体で考える必要にも迫られている。その先駆けとして、今からでも地域を挙げて子ども会や学校行事への協力をを行い、将来的な地域の担い手の確保を目指して活動をしていく必要がある。

南高麗地区は、市街化調整区域であることから、住宅の建築が制限されているが、平成 28 年度から“農のある暮らし”「飯能住まい」制度が導入され 70 世帯 219 人（令和 7 年 3 月末現在）の移住者があり、人口の増加が図られている。この制度が確実に定着するためには、地域の人々の迎え入れる姿勢とともに、一緒になって地域づくりを進めていく必要がある。市の助言もあり、移住者は全世帯自治会に加入して、自治会の中で役割を果たしている人も多くいる。まちづくりの活動にもいかにして参画していただくかの手立てを考える課題がある。

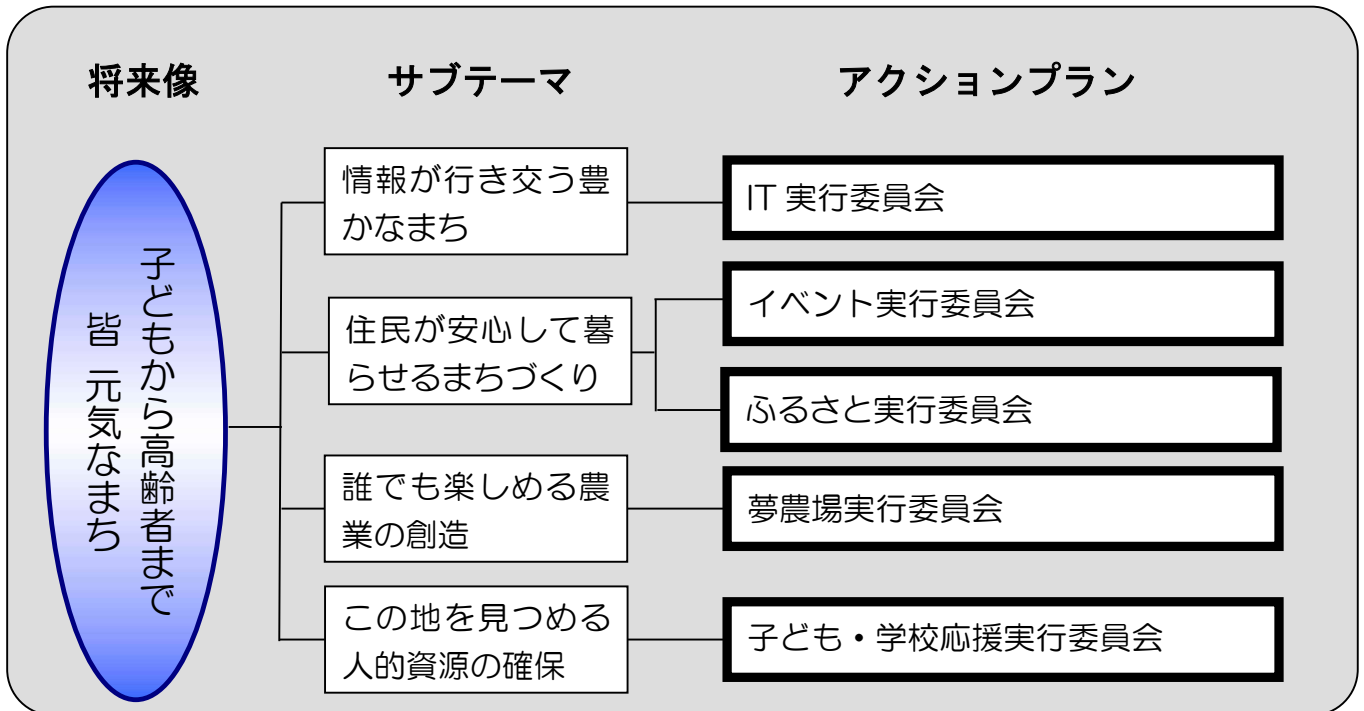
## 将来像

子どもから高齢者まで  
皆 元気なまち

## サブテーマ

- 情報が行き交う豊かなまち
- 住民が安心して暮らせるまちづくり
- 誰でも楽しめる農業の創造
- この地を見つめる人的資源の確保

# 南高麗地区協働計画「アクションプラン」



長光寺惣門 長い歴史のある地域です



過去の活動を生かして「石標めぐり」

## ★アクションプラン①「IT 実行委員会」

### 〔目的と取り組み〕

高度情報化社会と言われている今日、南高麗地区では、IT メディアを活用し、地区内の情報を共有化することで、南高麗地区の一体感を向上させる。

同時に、地区の発展に役立つ地区外の情報の収集も併行して行って行く。今後もホームページ「おいでなすって南高麗」の運営や、パソコンの有用な使い方の講習会を実施する予定である。ホームページを使って行事をPRし、参加を募る方法を導入する。

古い写真をアーカイブスとしてデジタル保存する活動を行って行く。地区内諸団体の活動時の写真撮影サービスを行って行く。

## ★アクションプラン②「イベント実行委員会」

### 〔目的と取り組み〕

地区住民が安心して暮らせるまちをつかって行くためには、住民が直接顔を合わせ、言葉を交わす機会を設けることが重要である。

ツーデーマーチや文化祭、健康づくりワンデーウォーク、収穫祭等、人と人がふれあう機会を可能な限り多くつくり、将来像である「元気なまち」を目指して活動を進めて行く。ツーデーマーチの時に行う売店運営は、携わる人員を確保する課題を解決しつつ、今後も実施して行く。



ツーデーマーチ 売店運営

## ★アクションプラン③「ふるさと実行委員会」

### 〔目的と取り組み〕

南高麗地区の恵まれた自然に、地区の内外を問わず多くの人にふれていただくために山道の整備を行う。南高麗全域のハイキングコースの整備は、ほぼ終わっているが、さらなる調査を行い、出来るだけ多くのコースの整備を目指す。また、公民館（地区行政センター）やスポーツ協会と連携して作り上げたハイキングコース 10 コースも、両者とのタイアップ事業で活用していきたい。12 基設置してある「石標めぐりハイキング」は、引き続き実施して行く。



トレランコース整備



地区内にクリスマスイルミネーション

## ★アクションプラン④「夢農場実行委員会」

### 〔目的と取り組み〕

農業をとおして多くの仲間をつくり、農業への理解を深め、誰でも楽しめる農業を目指し、南高麗を農業で賑わう地に行きたいと考えている。また、多くの仲間を募るため、地区外賛助会員制度も取り入れて行く。苴生にある「夢農場」は、中学校の学校農園にもなっているので共にジャガイモづくりを進める。小学校での農業体験は、関わる人員が少ない中であるが、いろいろな農作物づくりの支援を行って行く。収穫したジャガイモについては、福祉センターや児童クラブに提供するなどして有効に活用して行く。ミツバツツジの管理については、所期の目的は達成していると見立てている。



夢農場 中学生と共に

## ★アクションプラン⑤「子ども・学校応援実行委員会」

### 〔目的と取り組み〕

「子どもは地域の宝」という言葉があるように、若い世代の南高麗地区からの流出を防ぎ、地域の担い手を確保していかなければならない。将来のこの地域に留まり、地域の良さを理解し、南高麗地区で活躍する子どもたちの成長を見据え、地域を挙げて子どもや学校行事に協力することで地域の活性化を図って行く。登下校時の安全確保をしている「子ども見守り隊」と、この実行委員会との連携を検討していく。



小学2年生 上分探検 穴の作



小学校体験農場



地域大運動会



ツデーマーチ運営スタッフ

子どもから高齢者まで  
皆元気なまち



ジャガイモ撒き



尾根道整備



アクションプラン④  
夢農場実行委員会

時計台

秋葉神社

滝の入タブの木

尾根道整備

観音寺

富士浅間神社

徳蔵寺

吾妻神社

石灰焼場跡

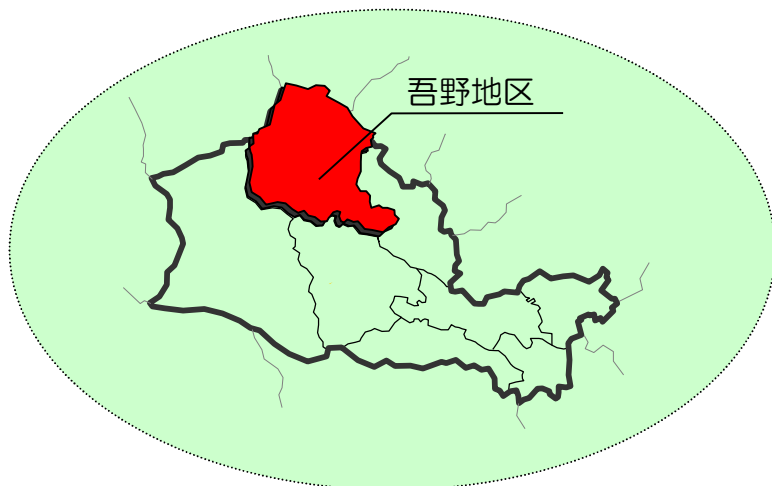
アクションプラン⑤  
子ども・学校応援実行委員会

アクションプラン③  
ふるさと実行委員会

ミツバツツジ  
一本桜







# 吾野地区



紅葉の名所 東郷公園

吾野地区は、飯能市内の北西に位置し、豊かな森林と清流「高麗川」を源流とした恵まれた自然環境の中に歴史と文化が息づくまちである。

地区内には、高山不動尊や東郷公園、伊豆ヶ岳、正丸峠などがあり、吾野道は、子ノ権現、顔振峠への登山口となり、1年を通じてハイキングや川遊び等の多くの観光客が訪れる地区である。

人口減少に負けない、豊かで元気な地域創造を目指し、まちづくりに取り組んでいる。

## 活動実績

吾野地区まちづくり推進委員会は、平成11年11月に発足。「自分たちの住む場所は、自分たちで良くする」との基本的な考えのもと、多くの仲間を募り知識を結集してきた。子どもたちをはじめ多くの人にとって「吾野」を自慢したくなる、また、誇りを持って暮らせる地域となることを目指し、様々な事業を展開してきた。

### ■景観整備事業

当地区が有する豊かな自然環境を保全し、その魅力を次世代につなげる活動に取り組んでいる。

1. 高山関八州見晴台付近、高麗川源流の碑付近の整備
2. 奥武蔵中学校生徒との共同作業（記念植樹、「水と緑の学習」の支援）

### ■耕作放棄地の活用

自ら畑を耕作することで休耕地の活用策の検討を行い、また、地域の特産品となる農作物の普及・啓発に取り組んでいる。

1. ジャガイモ栽培とサツマイモ栽培、収穫イベントの実施
2. 収穫物の地域内での販売と特産品PR活動

### ■旧吾野小学校利活用促進

1. 自治会連合会吾野支部と協業した住民アンケートの実施
2. 校庭環境の維持整備とイベントでの活用

## 現状と課題

当地区の自然環境・交通アクセスなど好条件を大いに生かした事業の展開を考え、実行することが求められているが、まちづくり活動に参加するメンバーの高齢化・固定化が進んでいるのが現状である。そのなかで、活動の活気を促し、地域のための魅力的な事業を進めていくことが課題である。過去に学び、今できる、又はしなければならぬことを実行し、創造していく活動を実践していきたい。

### ■現状

1. 若年層の事業参加がない。毎月の理事会に活発的意見が少ない。
2. 各事業が試行段階である。

### ■課題

1. 外部との交流をもち、活気を促す。
2. 魅力的な事業の展開。
3. 収益事業の構築。
  - 休耕地、耕作放棄地を使用した栽培品の収穫。
  - 販売方法の検討。

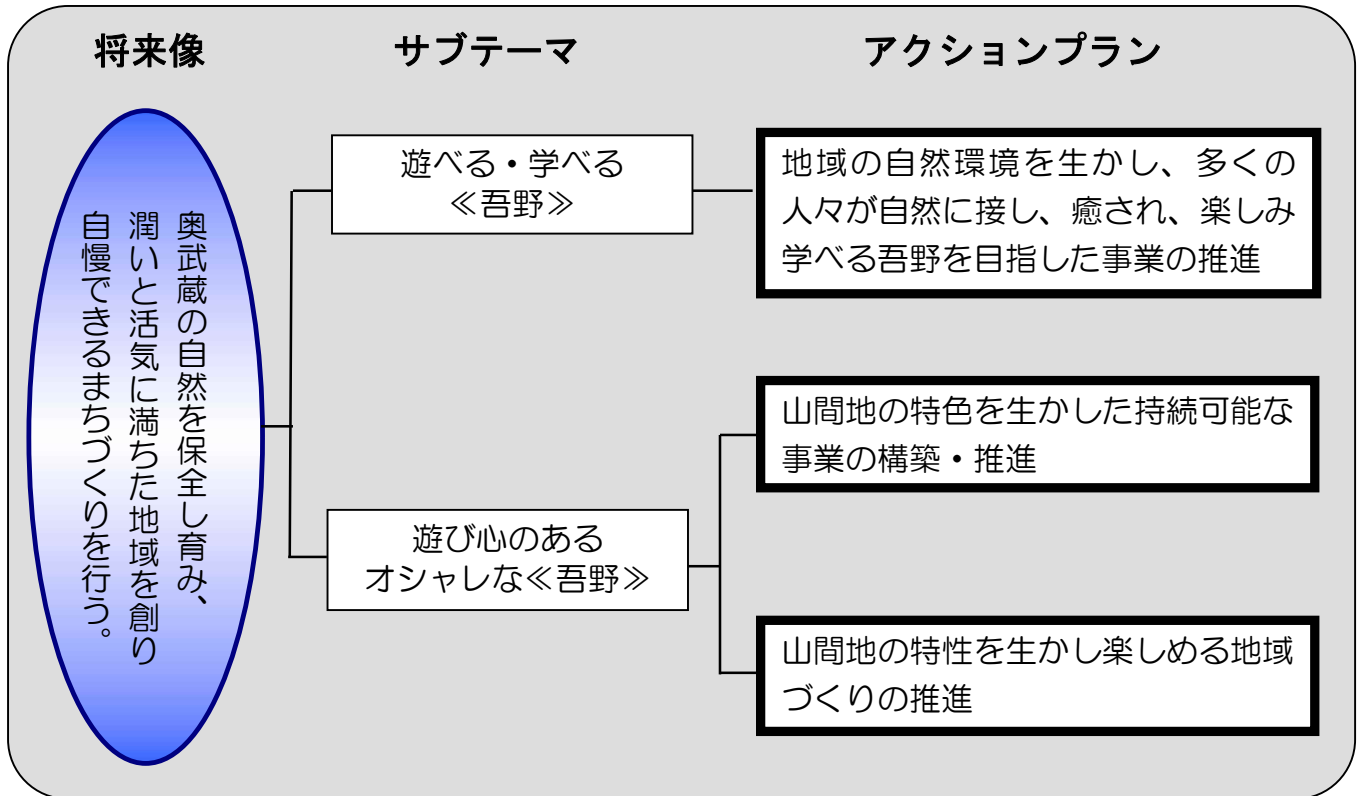
## 将来像

奥武蔵の自然を保全し育み、潤いと活気に満ちた地域を創り、自慢できるまちづくりを行う。

## サブテーマ

- 遊べる・学べる《吾野》
- 遊び心のあるオシャレな《吾野》

# 吾野地区協働計画「アクションプラン」



旧南川小のひな祭り



坂石町分のお囃子

## ★アクションプラン①

「地域の自然環境を生かし、多くの人々が自然に接し、癒され、楽しみ学べる吾野を目指した事業の推進」

### 〔目的〕

吾野地区には多くの人には広まっていないが魅力的な自然環境、歴史的行事、人々の活動があり、また生かされていない資産がある。それらの魅力を理解し広め、有効活用することで、地域に誇りを持てるまちづくりを推進する。

### 〔取り組み方〕

- 旧吾野小の環境維持整備を図り、住民の意見を反映した利活用の推進に取り組む。
- 地域の将来を担う人材に地域の魅力を伝える活動を行う。
  - ・ 奥武蔵創造学園及び吾野保育所との交流促進
  - ・ 奥武蔵中学校と連携し「水と緑の学習」や「卒業記念植樹」
  - ・ 移住希望者への各種支援
- 地域内の人材や各種団体と交流・連携し、地域の魅力を発信し活性化させる取り組みを行う。
  - ・ 吾野フェスティバルなどの共催事業の展開



旧吾野小学校

## ★アクションプラン②

### 「山間地の特色を生かした持続可能な事業の構築・推進」

#### 〔目的〕

自然環境に恵まれた吾野地区は、西川材に代表される森林資源を有し、ジャガイモ、柚子、のらぼう菜などの農産物の栽培が盛んに行われている。山間地ならではの資源を生かし特色あるまちづくりを進める。

#### 〔取り組み方〕

- 「ファーム輝」※事業を継続的に発展させ、耕作放棄地の活用を進める。  
※吾野地区まちづくり委員会が運営する畑。毎年、ジャガイモ・サツマイモなどを栽培し、地域住民も参加した収穫イベントを行い、収穫物は行政センターなどで販売を行っている。
- 地元特産品の栽培とその収穫物の収益化を図りつつ、持続的な事業化を目指す。

## ★アクションプラン③

### 「山間地の特性を生かし楽しめる地域づくりの推進」

#### 〔目的〕

山間地にある吾野地区は、豊かに恵まれた自然環境に接するために多くの人を訪れる地域である。

その山間地の特性を生かし、楽しめる地域づくりを進め、多くの人々が地域に接する機会を設けることで、関係人口の増加を促す。

#### 〔取り組み方〕

- 外部団体と連携したトレイルランニングなどのスポーツイベントの推進
- ホタル保護プロジェクトなどの自然体験の場や機会を設ける。
- ハイキングルートの整備などにより自然景観の維持を図る。
- 上記の取り組みや、地元の行事・風習・歴史・名所/旧跡などをHP・SNSなどを通じて発信し、地域の魅力の認知向上を図る。

◇ 吾野地区まちづくり推進委員会ホームページ : <https://www.agano-okumusashi.com/>

◇ 吾野地区まちづくり推進委員会フェイスブック : <https://www.facebook.com/agamachi01>

**アクションプラン③**  
山間地の特性を生かし楽しめる地域づくりの推



**アクションプラン②**  
山間地の特色を生かした持続可能な事業の構築・

# 吾野地区アクションプランマップ



**アクションプラン③**



自然景観の維持

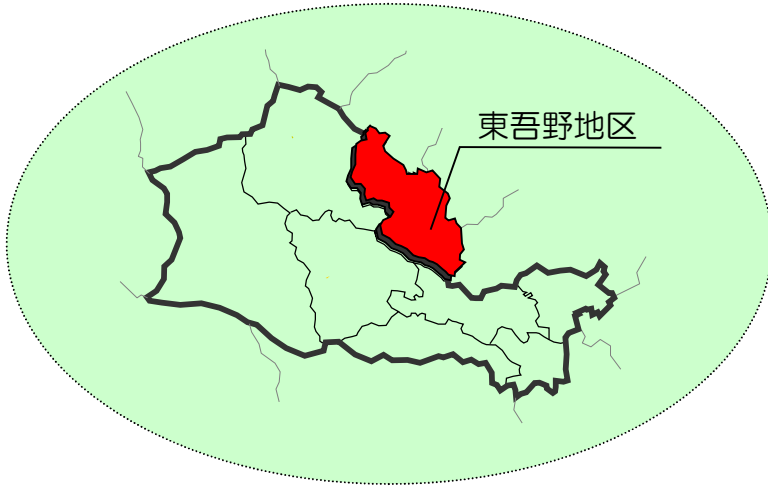
**アクションプラン①**

地域の自然環境を生かし、多くの人々が自然に接し、癒され、楽しみ学べる吾野を目指した事業の推進



旧吾野小学校





# 東吾野地区



国指定重要文化財 福徳寺阿弥陀堂

東吾野地区は、飯能市の北部に位置しており、杉、檜の美林と高麗川の清流、「ほたる」の飛び交う支流もあり、恵まれた自然環境の中に位置し、歴史文化遺産も多々ある。また、近年トレイルランやハイキングで訪れる人も多い風景の美しい郷である。

少子高齢化による人口減少は避けられない現実だが、各大字ごとの地域振興活動は活発に行われており、隣近所での交流は盛んで、先人から受け継がれた互いに助け合う、心豊かな「ほっこり」した地域である。

## 活動実績

東吾野地区まちづくり推進委員会は、平成13年2月に発足し、平成25年度からは地域福祉推進組織「ふくしの森・東吾野」と統合し、一体となって活動を展開している。

広報誌「おらがんち」で情報発信、食文化の伝承として「餅つき」「味噌づくり」、文化遺産講座等々の事業を実施し、また、地区文化祭に合わせ「ほっこり祭り」も開催し実績をあげている。

組織の統合により、より多くの地域の人たちの協力が得られ、「地域づくり」を「点」としてではなく、「面」としての広がりがみえてきている。

平成28年7月より地域住民との交流・情報交換を目的に、日用品や食材確保の移動販売事業を実施してきましたが、令和6年12月からは「ウエルシア薬局」の移動販売車「うえたん号」とともに地域の見守り巡回を継続している。

## 現状と課題

東吾野地区は、山間地域である。自然環境は良いが、杉・檜の植林後数十年がたち、山の木々の手入れがおろそかになっているのも現状である。その植林の影響か川の水量が年々減少し、普段は少なく、台風等大雨が降るといっきに増水する様に感じている。

また、人的な面で見ると、直近1年間で約50人程人口減少している。自然災害と人口減少が、大きな課題と言えるかと思う。

そのような現状の中、自分達に何ができるのかを、自治会支部や地区民生委員も交えた地区対策協議会で意見を出し合い、以前からの合言葉「自分たちの地域を自分たちで」「自分たちで出来ることは自分たちで」の考えのもと課題に取り組んでいく。

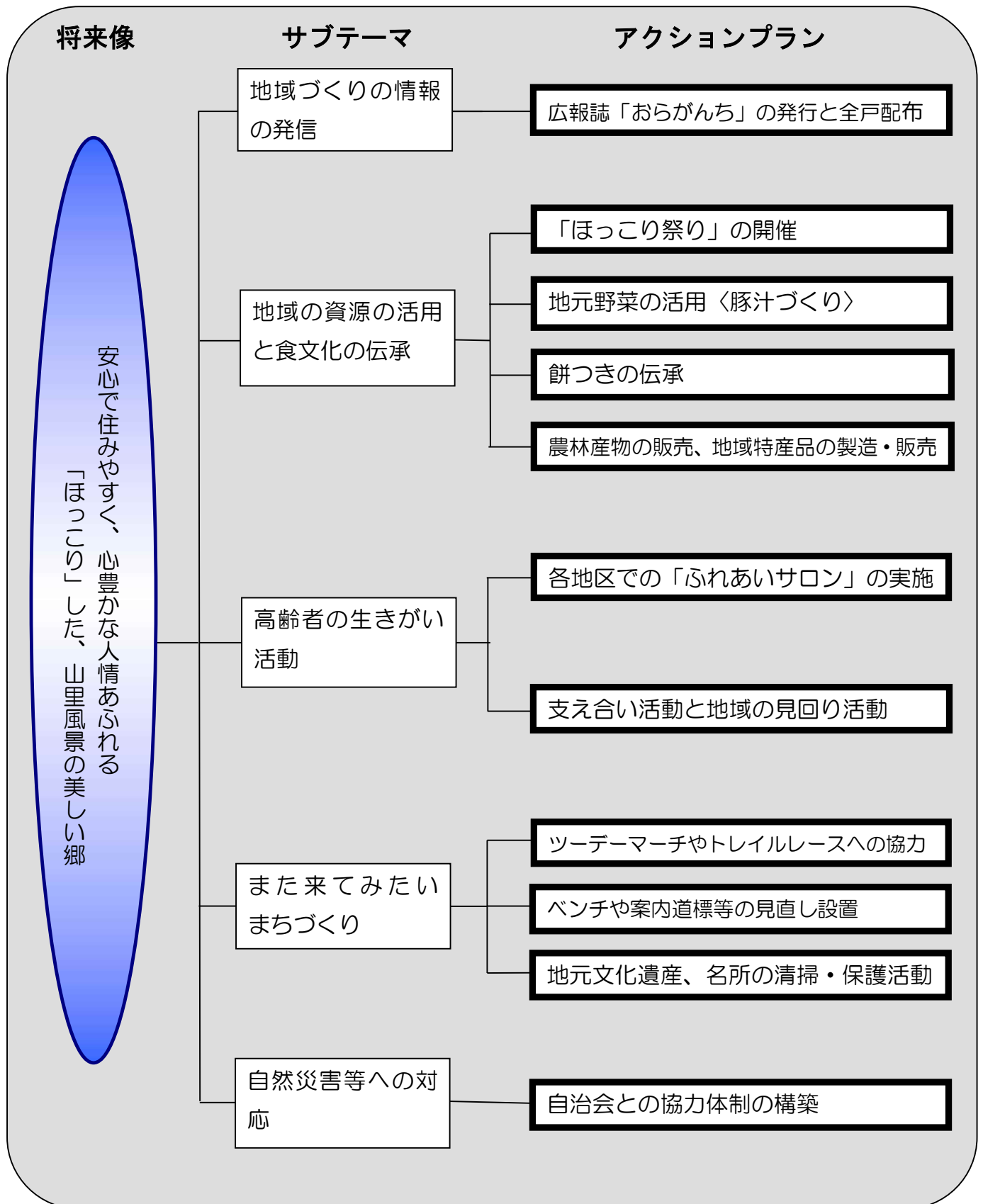
## 将来像

安心して住みやすく、心豊かな人情あふれる  
「ほっこり」した、山里風景の美しい郷

## サブテーマ

- 地域づくりの情報の発信
- 地域の資源の活用と食文化の伝承
- 高齢者の生きがい活動
- また来てみたいまちづくり
- 自然災害等への対応

# 東吾野地区協働計画「アクションプラン」



## ★アクションプラン①「広報誌【おらがんち】の発行と全戸配布」

### 〔目的〕

地域づくりの情報発信

### 〔取り組み方〕

広報委員会を組織し、広報誌を発行する。全戸配布。

## ★アクションプラン②「【ほっこり祭り】の開催」

### 〔目的〕

地域振興と住民相互のふれあい

### 〔取り組み方〕

地区文化祭に合わせ、各地区から模擬店を出店する。公民館活動グループの出演を含め地区最大のイベント化を目指す。

## ★アクションプラン③「地元野菜の活用(豚汁づくり)」

### 〔目的〕

地域資源の活用

### 〔取り組み方〕

地域イベント等に「豚汁」をサービス。また、ウエルシア移動販売同行時地元野菜を提供販売する。

## ★アクションプラン④「餅つきの伝承」

### 〔目的〕

食文化の伝承

### 〔取り組み方〕

3月のひな祭りに合わせ、子供達とその家族で餅つき大会を実施。

## ★アクションプラン⑤「農林産物の販売、地域特産品の製造・販売」

### 〔目的〕

地域資源の活用と高齢者の生きがい

### 〔取り組み方〕

地区ごとの販売体制構築。無添加味噌の製造販売体制を構築する。

### ★アクションプラン⑥「各地区での【ふれあいサロン】の実施」

〔目的〕

地区住民相互の連携と親睦

〔取り組み方〕

地区ごとに趣向を変えて実施する。

### ★アクションプラン⑦「支え合い活動と地域の見回り活動」

〔目的〕

高齢者への配慮と心配り

〔取り組み方〕

草刈りや庭木の手入れ、及び散歩時の地域の見回り、声かけ等の心配り。

### ★アクションプラン⑧「ツデーマーチやトレイルレースへの協力」

〔目的〕

参加者とのふれあいを通じ、活力とする

〔取り組み方〕

ボランティアとして協力し、おもてなしを図り、地元へのリピーター増加も目指す。

### ★アクションプラン⑨「ベンチや案内道標等の見直し設置」

〔目的〕

地元散策時の憩いの場提供

〔取り組み方〕

他地区からの来訪者も含め、休憩場所や案内表示を見直し設置する。

### ★アクションプラン⑩「地元文化遺産、名所の清掃・保護活動」

〔目的〕

地元文化遺産や名所を後世に残して行く

〔取り組み方〕

地元文化建築物や名所を定期的に清掃活動をする。

### ★アクションプラン⑪「自治会との協力体制の構築」

〔目的〕

組織ごとの行動・活動を連携協力で、安心できる地域づくり

〔取り組み方〕

地区対策協議会を継続し、災害時の対応含め、地区問題点の共有化を図る。



八徳の一本桜

**アクションプラン⑧**

ツーデーマーチや  
トレイルレースへの協力

**アクションプラン⑨**

ベンチや案内道標等の  
見直し設置

**アクションプラン⑩**

地元文化遺産・名所の  
清掃保護活動

**アクションプラン⑪**

自治会との協力体制の  
構築

顔振峠



諏訪神社

文 文

吾野



借宿神社



東神社

299

# 東吾野地区アクションプランマップ



天文岩



桃源郷ユガテ



福徳寺阿弥陀堂  
国指定重要文化財



菅原道真像

東吾野地区行政センター

東吾野

文



ホタル生息地



吾那神社



長念寺と愛宕山

アクションプラン①  
「おらがんち」の発行

アクションプラン②  
「ほっこり祭り」  
の開催

アクションプラン③  
地元野菜の活用

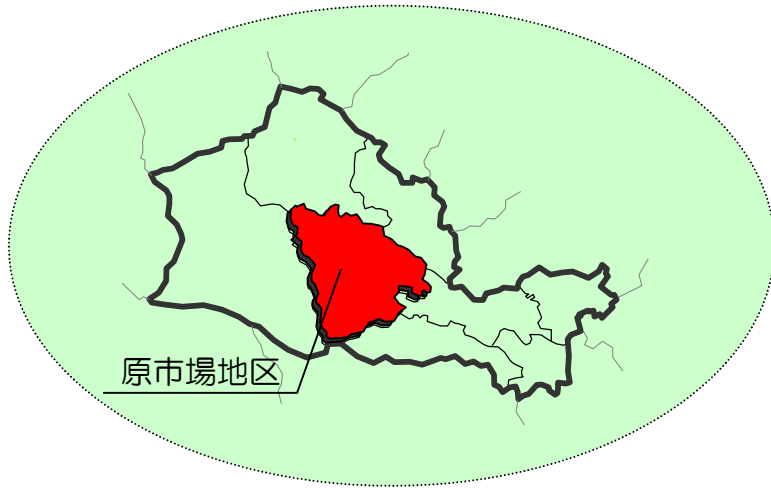
アクションプラン④  
餅つきの伝承

アクションプラン⑤  
農林産物の販売

アクションプラン⑥  
「ふれあいサロン」  
の実施

アクションプラン⑦  
支え合い活動と  
地域の見回り活動





# 原市場地区



女優・佐藤康恵さん、原市場まちづくり応援大使任命式  
地元出身の女優さんと地場産野菜のPR

本地区は、豊かな森林や清らかな河川に恵まれた自然環境を有する飯能市の中央部に位置する地区である。

本地区では、少子高齢化が進み、高齢者世帯などが点在するといった課題や、近年では、有害鳥獣による農作物や生活への被害が課題であるが、自分たちの地域は自分たちで何かしていこうとする気概を持つ風土で、住民活動の活発な地域である。

地域の森林、木材、観光資源、地場産野菜などを生かし、「原市場の森」の整備や「木工教室」「ホタル観賞会」「ジャガイモ販売会」などを行い、地域の活性化に努めている。

## 活動実績

原市場地区まちづくり推進委員会は、平成 10 年 8 月に発足し、アクションプランに基づき、四季を感じる歩こう会事業、子ども達と原市場を元気にする事業、蛍の里づくり事業、原市場いきいき広場管理事業、花のあるまちづくり事業、いきいき原市場まつり事業、木の文化を伝える事業の 7 つの事業を実施してきた。

7 つのアクションプラン毎の各事業は、コロナ禍以降徐々に活動を復活させ、令和 5、6、7 年度は計画に基づいた活動がほぼ実施できた。

アクションプランの評価は平均 8.5 ポイントと成果を上げることができた。特に「子ども達と原市場を元気にする事業」「蛍の里づくり事業」「花のあるまちづくり事業」「いきいき原市場まつり事業」では、原市場小・中学校 PTA やスポーツ協会、地元自治会、社会福祉協議会等各種団体との連携を深めることができたとともに、事業への参加者も増やすことができた。このように長年の努力と沢山の方々の協力で確実に成果を上げることができた。

また原市場中学校の裏山「原市場の森」整備においては、定期的な下草刈りや植樹により、春に見事な桜が咲き誇る地域のシンボリックな場所となっている。その活動の功績が認められ、令和 7 年度第 75 回全国植樹祭で「埼玉県緑化功労者表彰」を「原市場の森を育てる会」が受賞しました。

## 現状と課題

恵まれた自然環境の中で少子高齢化が進む本地区は、自然・歴史・文化など地域資源を有効に活用し、世代間・地域間を超えてコミュニティ活動の展開を図っている。

アクションプランに基づく各事業は、実行委員会会長を中心に地道な活動を実践している。地域に根ざした活動で着実に成果を上げている。

### 課題

- ・会員の高齢化
- ・会員不足
- ・予算の効果的な活用

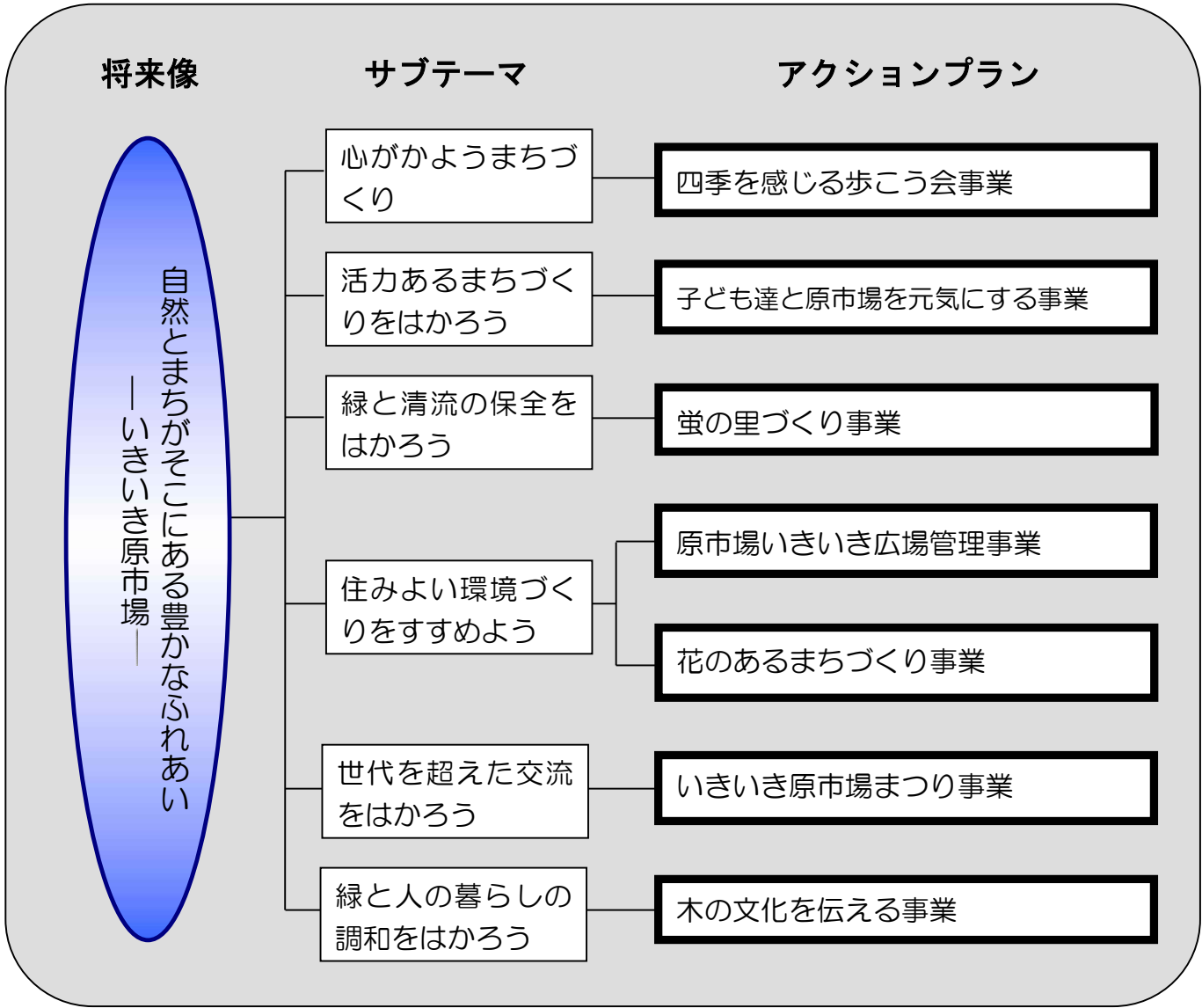
## 将来像

自然とまちがそこにある豊かなふれあい  
—いきいき原市場—

## サブテーマ

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| ①心がかようまちづくり    | ②活力あるまちづくりをはかろう  |
| ③緑と清流の保全をはかろう  | ④住みよい環境づくりをすすめよう |
| ⑤世代を超えた交流をはかろう | ⑥緑と人の暮らしの調和をはかろう |

# 原市場地区協働計画「アクションプラン」



四季を感じる歩こう会で整備したリュウガイ城址



ホタル観賞会

## ★アクションプラン①「四季を感じる歩こう会事業」

### 〔目的〕

本地区には四季を感じることのできる散策路がたくさんありことから、多くの方に散策してもらうような環境づくりや、散策を目的とした事業を展開し、健康づくりやコミュニケーションを図りながら、地域の良さを見直す機会とする。

### 〔取り組み方〕

散策路の整備や歩こう会の事業を実施するだけでなく、史跡や古刹を訪ね、新しい発見をしてもらえるようなコースを選定し、また、新しい散策路を紹介していく。

## ★アクションプラン②「子ども達と原市場を元気にする事業」

### 〔目的〕

子ども達と原市場を元気にするためには何が必要かを考え、実行する。  
また、子ども達もかかわる諸団体と連携し、地域の絆を深める。

### 〔取り組み方〕

- ・原市場の森を中心に植樹を行い、定期的に地域で整備を行う。
- ・植樹をとおして、原市場の里山保全を子ども達と実践する。

## ★アクションプラン③「蛍の里づくり事業」

### 〔目的〕

原市場にたくさんの蛍が飛び交うよう清流保全を行い、子ども達に蛍の生態について啓発する。

### 〔取り組み方〕

- ・蛍の鑑賞会を行い、蛍の生育環境への関心を高める。
- ・蛍の鑑賞、育成をとおして、自然環境を守る活動を支援する。

## ★アクションプラン④「原市場いきいき広場管理事業」

### 〔目的〕

子ども達が安心して遊べる広場を管理する。

### 〔取り組み方〕

- ・除草、整地に努める。
- ・子供の外遊びについて、考える機会とする。



## ★アクションプラン⑤「花のあるまちづくり事業」

### 〔目的〕

地域の環境づくりのために、歩道沿いや空き地に草花や花木を活かした景観づくりを行う。

### 〔取り組み方〕

- ・朝顔の行灯づくりや地域へ葉ボタンの植栽など、季節ごとの花を見ることができるよう地域を協力を仰ぎ、それぞれの家庭で育成し、地域の行政機関や公共機関に配布する。

## ★アクションプラン⑥「いきいき原市場まつり事業」

### 〔目的〕

地域が一体となり参加できるイベントを通して地域の交流を深め、まちづくりへの意欲を向上させ、活性化を図る。

### 〔取り組み方〕

- ・幼児からお年寄りまで参加できるコミュニティまつりを行う。
- ・時代に合ったイベントの開催方法を考慮し、住民の参加しやすい楽しい催し物を実施する。
- ・広報活動を充実し、住民の参加、来場者の増加を図る。



## ★アクションプラン⑦「木の文化を伝える事業」

### 〔目的〕

環境問題を考え、木の暖かみや優しさ等、様々な木の特性を生かし、子ども達に伝える。

### 〔取り組み方〕

- ・木の文化を伝えるための事業を展開する。
- ・親子木工教室を開催する。





子ノ権現



権五郎神社



竹寺



リュウガイ城跡

**アクションプラン①**  
四季を感じる歩こう会事業



金錫寺

木造宝冠釈迦如来坐像（市指定）

**アクションプラン③**  
蛭の里づくり事業

# 原市場地区アクションプランマップ



## アクションプラン②

子ども達と原市場を元気にする事業

## アクションプラン⑦

木の文化を伝える事業

## アクションプラン⑤

花のあるまちづくり事業



西光寺板石塔婆



若山牧水の歌碑



サクラの植樹



## アクションプラン④

原市場いきいき広場管理事業

## アクションプラン⑥

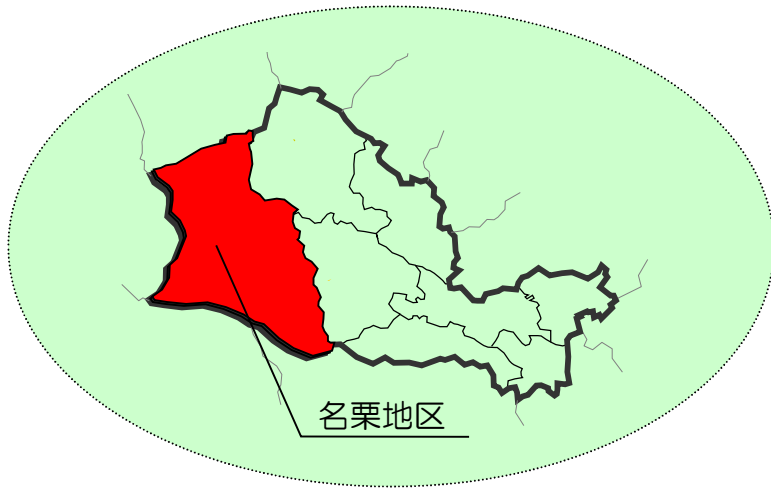
いきいき原市場まつり事業



唐竹白鬚神社（県指定）







# 名栗地区



紅葉の鳥居観音

名栗地区は、飯能市の西部に位置し、全域が県立奥武蔵自然公園に指定され、地区の97%がスギ、ヒノキの山林という緑豊かな自然と清流に囲まれた「自然の美術館」である。

近年、そうした自然と景観を求めハイキングやキャンプ、川遊びやサイクリングなど観光を目的とした来訪者も多く、年間を通じて賑わいを見せている。

## 活動実績

名栗地区まちづくり推進委員会は平成22年1月に発足し、これまでアクションプランに基づき、各事業部により活動を進めてきた。

- ・里山活性化事業は、自生する竹を伐採・加工して杖を作成し、ハイキングコースへの設置や補充、ハイキングコースの最寄りバス停に西川材を使ったベンチの設置、補修を行った。
- ・ホタルの里づくり事業は、ホタルの餌となるカワニナの放流により、ホタルが名栗地区全域に増え、「名栗のほたる観賞の集い」など、イベントの実施に繋がっている。
- ・景観整備事業は、会員と住民が協力し、地区内峠（小沢峠、天目指峠、正丸峠、山伏峠）の清掃作業（草刈り、ゴミ等の除去）を継続的に実施している。  
また、歴史的資源なども、清掃作業を実施することで守っている。
- ・イベント事業は、地区内で開催されるイベント（名栗地区大運動会）などに協力し、名栗地区内の住民の交流を図った。  
また、名栗地域の伝統芸能として位置づけ、今後も継承できる仕組みづくりに取り組んだ。

## 現状と課題

山間地域で特に顕著である少子高齢化と人口減少は、まちづくり推進委員会の活動に限らず、地区全体のコミュニティづくりや他の活動団体の存続にも影響している。また、公共交通機関の存続・維持に向けた取り組みも重要な課題となっている。

そのような中で、名栗地区にとって、必要な事業を効果的に実施していくため、「会員相互のコミュニケーションの充実」、「新たな会員の確保に努める」、「合理的な役割分担」、「新たな視点による取り組みの検討」など、魅力的な事業を展開していくことが必要である。

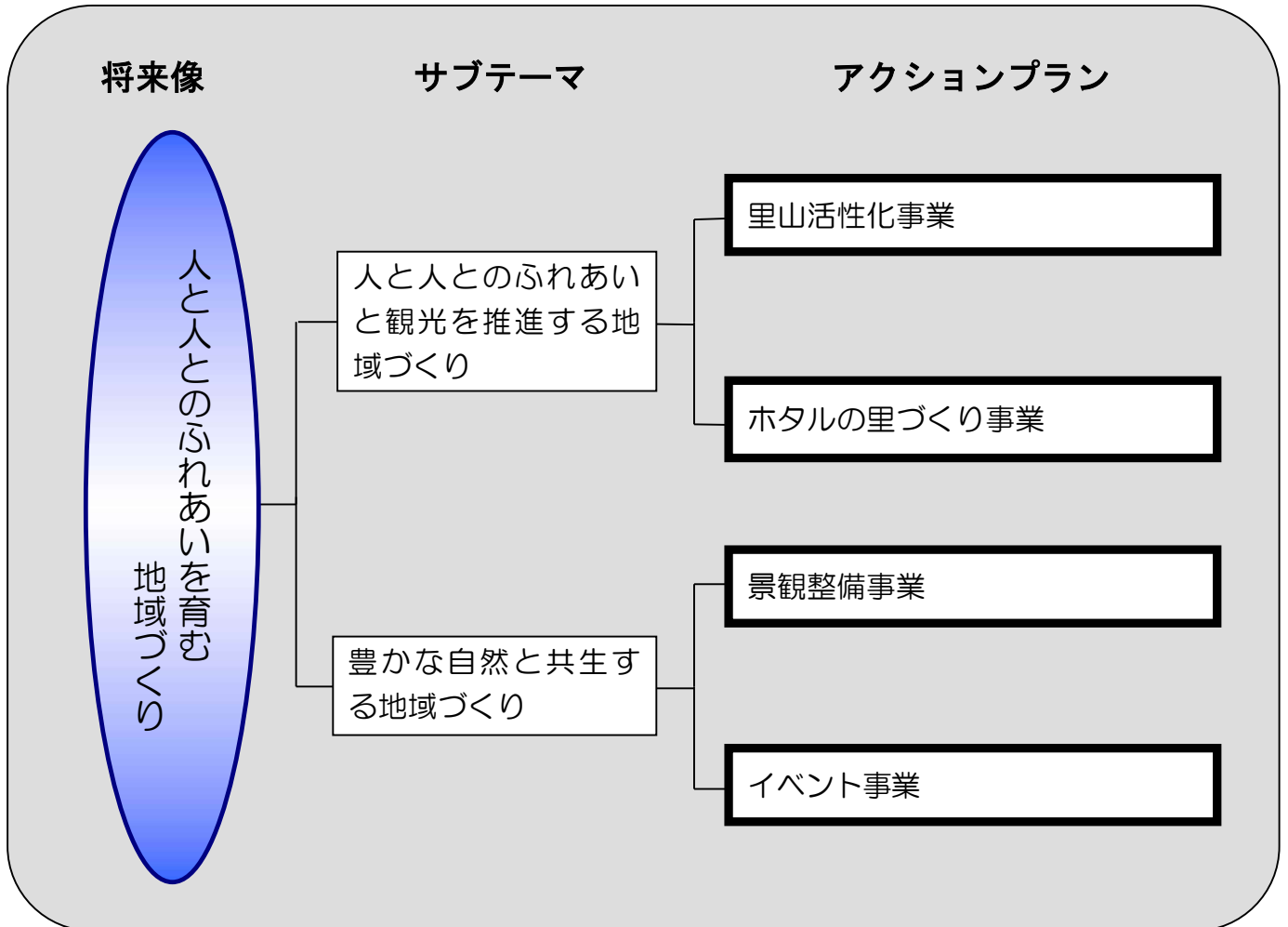
## 将来像

人と人とのふれあいを育む地域づくり

## サブテーマ

- 人と人とのふれあいと観光を推進する地域づくり
- 豊かな自然と共生する地域づくり

# 名栗地区協働計画「アクションプラン」



名栗湖畔より棒ノ嶺方面を望む

## ★アクションプラン①「里山活性化事業」

### 〔目的〕

西川材のPR

### 〔取り組み方〕

- ベンチの製作
- 杖づくり
- 丸太雛の製作、手伝い



## ★アクションプラン②「ホタルの里づくり事業」

### 〔目的〕

河川環境整備

### 〔取り組み方〕

カワニナの放流



ホタルが飛び交う名栗の清流

## ★アクションプラン③「景観整備事業」

### 〔目的〕

- 名栗地域の美化
- 観光地としての魅力アップ

### 〔取り組み方〕

沿道、河川の清掃

河川敷での景観整備作業  
(下名栗地内) →



## ★アクションプラン④「イベント事業」

### 〔目的〕

地域住民の地域のイベントへの参画

### 〔取り組み方〕

名栗音頭の継承



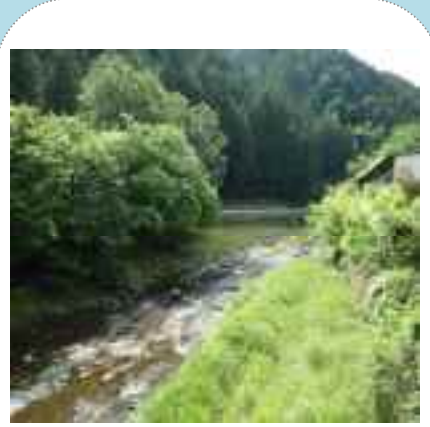
鳥居観音灯笼流し終了後の盆踊りの様子



埼玉県立名栗げんきプラザ ●

松木の観音堂 ●

檜渕諏訪神社 ●



入間川 (名栗川)



なぐり杖設置場所



景観整備作業



棒ノ嶺山頂

アクションプラン④  
イベント事業

アクションプラン③  
景観整備事業

# 名栗地区アクションプランマップ



なぐり杖の設置場所

星宮神社

名栗地区

行政センター

さわらびの湯

名栗カヌー工房

有間溪谷観光釣り場

アクションプラン②  
ホタルの里づくり事業



景観整備作業



水生生物観察会



ノーラ名栗

名栗地区の観光拠点として、豊かな自然の中で、サウナテントやバーベキュー、グランピングなど北欧文化が体験できます。また、ステージを活用したイベントも開催されます。

アクションプラン①  
里山活性化事業



名栗川橋

景観整備エリア  
(全 域)



---

編集発行 令和8年4月

各地区まちづくり推進委員会

飯能市市民生活部自治振興課

問い合わせ先 飯能市市民生活部自治振興課

TEL 042-973-2626

FAX 042-974-6737

E-mail [jiti@city.hanno.lg.jp](mailto:jiti@city.hanno.lg.jp)

---